

# 漁業経営の6次産業化推進 (都市型沿岸漁船漁業者による直売活動支援)

鹿児島地域振興局 林務水産課

## 【背景・目的】

比較的大規模に営まれる魚類養殖業を除くと零細沿岸漁船漁業者が大多数を占める鹿児島市に於いて、漁業者自らが移動販売の手法を用いて漁場から運ばれた獲ったばかりの魚を消費者に直接販売する6次産業化の動きが見られ始めているものの個人的取り組みであるため販売する商品(鮮魚)の品数、数量がまとまらないこともあり消費者サイドにこの動きが伝わっていない。

漁獲物の直接販売を試みる谷山漁協の漁業者を支援する中で、複数の若手漁業者から漁獲物の直売を希望する相談が寄せられるようになり、6次産業化に向けた動きが大きくなりつつあった。

こうした動きを集約して、6次産業化実現に向けた動きを加速させることは沿岸零細漁業者の所得向上を図る上で是非とも必要である。

## 【普及の内容・特徴】

谷山漁協の若い漁業者や女性の漁業者から直売の要望や相談を受け、地域振興推進事業(県単)を導入して、直売活動を希望する若手漁業者のグループ化を図り、先進事例研修と関係法令の学習を通して常設の鮮魚直売所設置に向けた意識の向上と直売事業成功への確信を高めることを普及の柱とした。

## 【成果・活用】

平成24年7月17日、谷山漁協組合員9名により「谷山漁協朝獲れ地魚直販グループ」を結成し、規約と役員を決めた。8月にはイベント的直販市を開催している県内2漁協の直販市を視察するとともに「魚介類販売に係る許可制度と諸手続の概要及び衛生管理」に係る研修会を実施。9月にJAS法の研修会を実施。10月には長崎県と愛媛県の常設直売所7箇所の運営等先進事例の視察研修実施。こうした研修を重ねる中で7回の会合を持ち、常設の直売所整備に向けた意志が醸成され、直売所整備前にイベント的直売市「谷山朝獲れ市」開催が決定され、11月に第1回谷山朝獲れ市を開催し、来場者を対象にアンケート調査を実施。さらに、市民の要望を受け、12月と3月に第2回・第3回の谷山朝獲れ市を開催。4月以降は毎月1回定期的に朝獲れ市を開催する事になった。

これまで鹿児島市内において、漁獲されたばかりの「新鮮」で地元でしか味わえない「地魚」を入手することは難しかったが、本事業により谷山地区に於いて、漁業者が漁場から直接運び込んだ新鮮な地魚を市民や観光客に提供できる体制が構築されようとしている。

3回の朝獲れ市に対する市民の声は「新鮮」、「安価」な地魚直売を歓迎し、常設の直売所を望む意見が大多数を占めていたものの、認知度の低い地魚の売れ行きが悪く、種々雑多な地魚を周知する取り組みの重要性が認識された。



朝獲れ地魚直販グループ結成総会



法令等講習会



先進事例視察研修（県内）



先進事例視察研修（長崎県）



先進事例視察研修（愛媛県）



谷山朝獲れ市開催